

経営比較分析表（令和5年度決算）

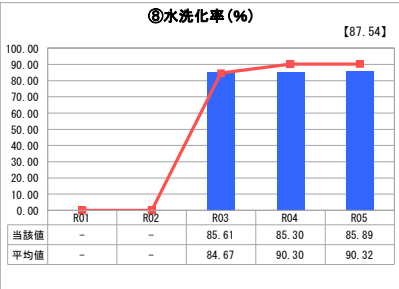
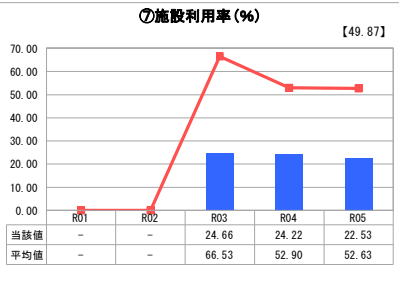
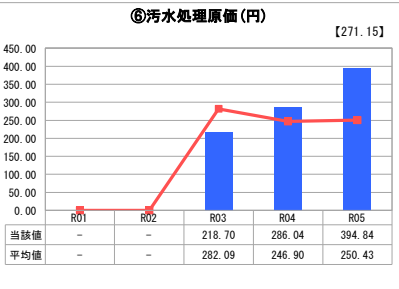
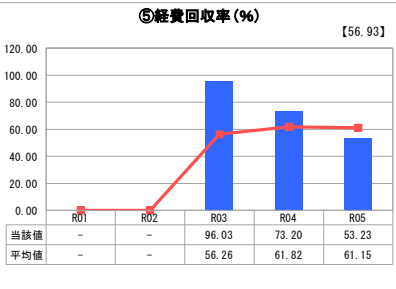
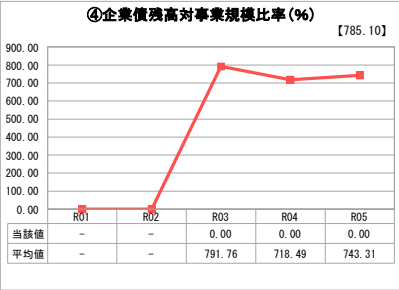
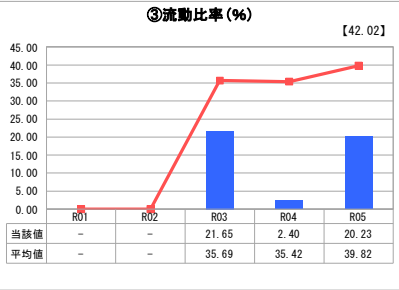
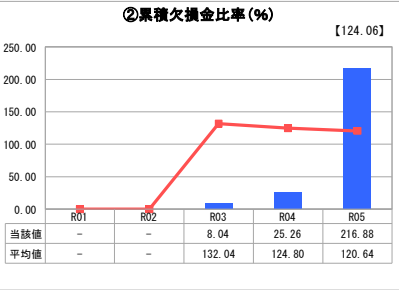
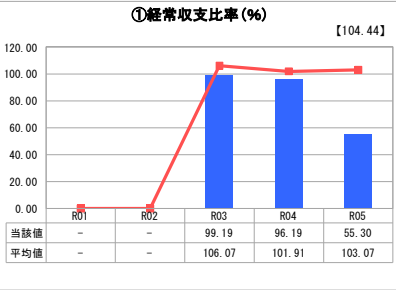
福島県 南会津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	91.74	15.90	86.55	4,180

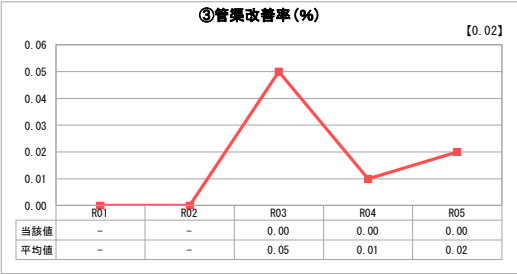
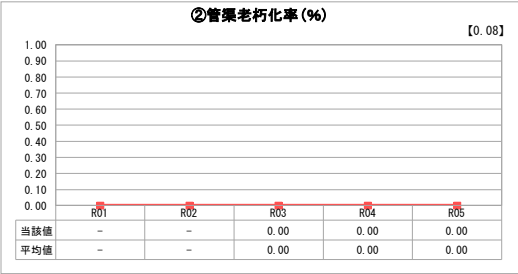
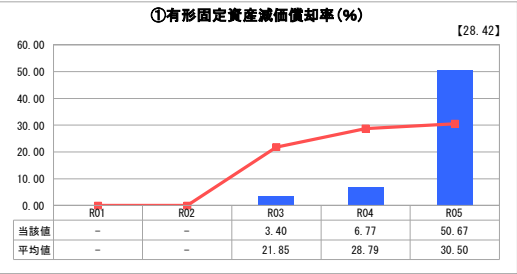
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,733	886.47	15.49
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,148	2.51	855.78

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

『①経常収支比率』が前年度に引き続き赤字となり、『②累積欠損金比率』は大きく増加しています。これは固定資産台帳の見直しを行った結果であり、減価償却費や長期前受金に影響をあたえ、それぞれに比率が大きく変動しました。

『③流動比率』が100%を下回っていますが、企業債償還金については一般会計からの繰入により補填されるため、経営に大きな影響はないと見込んでいます。

『⑤経費回収率』は、100%を下回っている状況であることから、使用料改定を視野に入れた対策が必要と考えます。

『⑥汚水処理原価』は、類似団体平均値より高い数値となっており、より効率的な汚水処理が実施されるよう対策を講じる必要があると考えます。

『⑦施設利用率』は、人口減少により整備当初に比べ過大なスペックとなっていることから、ダウンサイジングや設備の統廃合を進めるなどの改善が必要です。

『⑧水洗化率』については、面整備が完了しており、接続人口と処理区域内人口が同様の割合で減少傾向にあることから、ほぼ横ばいで推移すると見込んでいます。

2. 老朽化の状況について

固定資産台帳の見直しを行った結果、減価償却率に大きな変動がありましたが、現在のところ管路の破損や老朽化による道路陥没等の報告はありません。

下水道処理施設は、供用開始してから20年以上が経過しており、今後一斉に更新時期を迎え、処理場や機械・器具設備の老朽化による更新費用がさらに増加すると見込まれることから、計画的な施設・設備の改築や更新を行っていく必要があります。

全体総括

農業集落排水事業においては、令和3年度の公営企業法適用以降、毎年赤字が続いている状況であり、使用料の改定や施設の統廃合など抜本的な改革が急務となります。限られた財源の中で収支のバランスを考慮し、最適な規模で合理的な施設更新を進めることができるかが重要な課題となります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。